

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

押し目買い方針！！



■ コメント ■

本日の東京ガソリン市場は前日比-720円の45,340円で終了。ドル/円の下落、そしてNY夜間が幾分崩れたことにより売り優勢でスタートとなる。2日で7,000円以上も上昇した相場だけに、ちょっとした下げに対しても市場は敏感であった。立会い序盤には46,160円と夜間の高値を一瞬越えるものの、僅か1分で500円超の下落を演じ、その後は終始軟調に推移した。下落したとはいえ、大引け間際に安値を買われて下げ幅を縮小している事から、弱気転換とは考え難く、利食いが先行して押し目を入れた程度と見て良い。需要回復の鍵を握る中国からは、明るいニュースが入って来ている。ロイター通信社が本日報じた内容では、同国の原油輸入量が前年同期比で13.6%の増加を記録したとの事。これは昨年3月に次いで過去2番目の高水準である。まだ公式に確認されている数値ではないが、需要回復の裏付けとして期待ができる。現在、夜間の立会いを前にしてNY時間外も若干下落中。12/25の最安値から年初来高値となる4/6を軸とし、フィボナッチ比率でのそれぞれをポイントとし、押し目買い方針としたい。(16:40記 越村)

■ テクニカル ■

基準線 (26)	41,620円
転換線 (9)	41,505円
先行スパンA (26)	41,902円
先行スパンB (52)	39,630円
遅行線 (26)	45,340円

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。